

C-8. その他の機能

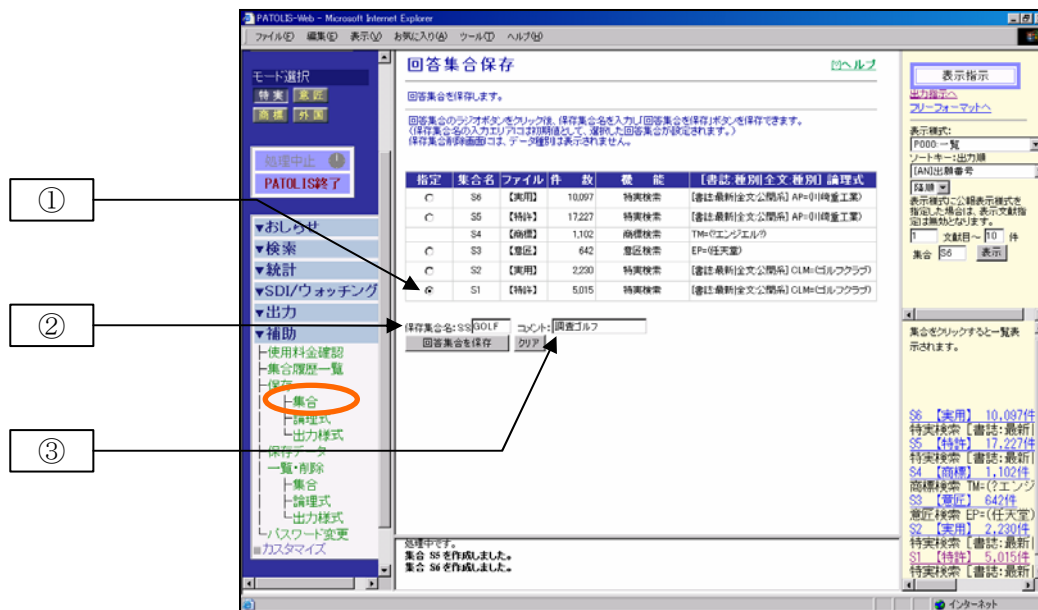
C-8-1. 保存・削除

(1) 回答集合の保存・削除 (コマンド: SAVE、DELETE、DISPLAY)

本機能は、PATOLIS-Web では特許・実用新案・意匠で作成された回答集合、PATOLIS-C/T、PATOIS-C/W では特許・実用新案で作成された回答集合が対象になります。商標・外国モードで作成された回答集合の保存・削除はできません。
トレーニングモードで使用できますが、実際には保存は行いません。

《保存》

[Web 指定] 特実モード、意匠モードでメニューフレームの「補助」「保存-集合」を選択すると回答集合保存画面が表示されます。



[コマンド指定] SAVE コマンドを使用します。

SAVE△S=集合名△NAME=SSxxxxxx△TITLE='コメント'	(指定された回答集合の保存)	
①	②	③
SAVE△S△NAME=SSxxxxxx△TITLE='コメント'	(直前の回答集合を保存)	
②	③	
(「△」は半角の空白)		

①回答集合の指定

保存する回答集合名を指定します。0 件の集合は保存できません。
指定できる集合の件数は 100,000 件以内、1UIDにつき合計 4MBまで^(注)の集合を保存できます。
(^注1UIDにつき保存集合・保存検索論理式・保存出力様式をあわせて 4MBまでとなります。)
Web の場合は、一覧から保存する集合を選択します。番号照会画面で作成された集合 (Bnnn)、類似文書検索で作成された集合 (Rnnn) は保存できません。
コマンドの場合は、S= に保存する集合名を指定します。SORT コマンドで作成された集合 (0nn) は保存できません。集合名を省略すると、直前に作成された回答集合を自動的に設定します。(直前に作成された集合が SORT コマンドで作成された集合の場合は、「SV529E 集合名 () は保存対象外の集合のため保存できません」のメッセージが表示されます。)

②保存集合名

保存集合名は先頭 2 文字を SS とし、その直後に 6 桁以内の任意の英数字を付けて指定します。(SSxxxxxx の形式となります。)

③コメント

保存集合名に付与するコメントを全角 10 文字以内で指定できます (省略も可能です)。

《保存集合の利用》

保存集合は、その保存集合名を指定することにより、その後の出力や検索で、そのまま使用できます（検索論理式で指定した場合は検索ターム料金はかかりません）。
保存内容については、Web の場合「保存データ一覧・削除（集合）」、コマンドの場合 DISPLAY で確認できます。

[Web 指定] 特実モード、意匠モードの検索が面で、検索項目「集合・保存集合・保存論理式」を選択し、検索論理式に保存集合名を半角で指定します。

検索項目	ターム	条件	検索論理式	演算子
1 集合・保存集合・保存論理式		=	SSGOLF	AND
2 出願日	AD	=	H06?	AND
3 <参照>		=		AND
4 <参照>		=		AND
5 <参照>		=		▼行追加

集合指定出力画面などで、出力対象として保存集合名を指定することも可能です。

状態保存 保存状態をクリア ヘルプ

集合指定出力 (PATOLIS 固定様式)

●状態保存可能項目

四法を選択してください。

特許 実用新案 意匠 商標

回答集合を入力してください。*入力必須

SSGOLF 集合履歴

PATOLIS 固定様式を指定してください。*選択必須 >>>>>> 公開出力へ変更 (商標を除く)

P105-書誌事項・抄録・キーワード・F・Fターム・代表図 P105 PATOLIS 固定様式サンプル

出力方法を指定してください。

メール ダウンロード オフライン

ソート・キー及び出力順序を指定してください。

●降順

●第1キー

●第2キー

●第3キー

タイトルを付けることができます。(全角92文字まで)

調査ゴルフ

送付先を指定してください。

メールアドレス(メイン)

副住所・メールアドレスを設定

送付先・メールアドレスを確認

追加する出力タームコードを指定してください。

出力タームコード:

指定してください(意匠・商標は除く)

出力ターム一括指定 リセット

フルダウンロードメニューから出力タームコードを選択する場合、ターム間にデータ区切り(,)が自動で入ります。
以下のコードを使って直接記述(修正)することもできます。

- データ区切り : / (カンマ)
- 改行 : \ (スラッシュ)
- データの種別 : A(公開) T(公表) R(再公表) E(公告) D(登録) E(新案) N(最新)
- スペースを指定する場合 : X(スペース2つなら 2X)
- コメント記述 : (文字列)

* CSV形式でのメール・ダウンロード出力の場合は、データ区切り、(カンマ)のみ指定可能です。
(例)CLM,/ABの場合、CLM,ABIに修正してください。

出力指示実行 クリア

[コマンド指定]

```

FILE P
  特許ファイルに接続しました。 2006/10/25 13:55:41
  ?
  F CLM=ゴルフクラブ
    CLM=ゴルフクラブ

  S1 P 4,947
  ?
  SAVE S=S1 NAME=SSGOLF TITLE='調査ゴルフ'
  (SSGOLF:調査ゴルフ)で保存しました。 2006/10/25 13:56:38
  ?
  F SSGOLF*AD=H06?
    SSGOLF*AD=H06?

  S2 P 226
  ?
  L SSGOLF F=P001

  **検索回答[SSGOLF ]** ファイル(P ) 様式(P001) 2006.10.25 1/ 4947
  特許出願 2006-506064 公表 2006-521143 公告 登録
  [H16. 3.29] [H18. 9.21] [ ] [ ]

  *継続有り
  
```

《削除》

[Web 指定] 特実モード、意匠モードでメニューフレームの「補助」「保存データ一覧・削除集合」を選択すると保存集合削除画面が表示されます。

保存集合削除 ヘルプ

保存集合を削除します

保存集合を最大10個まで選択し、「保存集合を削除」ボタンを押すと削除できます。
集合保存時のデータ種別別は表示されません。

集合名	ユーザーコード	保存日付	ファイル	件数	コメント
	機能				
<input type="checkbox"/> SSGOLF	DEMO	2006/10/25	【特許】	4,947	調査ゴルフ
	特実検索	CLM=ゴルフクラブ			

保存集合を削除 クリア

[コマンド指定] DELETE コマンドを使用します。

```
DELETE △S=SSxxxxxx,SSxxxxxx,・・・      (「△」は半角の空白)
```

①

①集合の指定

削除する保存集合名を指定します。最大10個まで指定できます。
Web の場合は、一覧から保存集合を選択し「保存集合削除」ボタンをクリックします。
コマンドの場合は、一度に複数個指定する際は保存名をカンマ(,)でつないで指定します。
トレーニングモードで使用できますが、実際には削除は行いません。

《保存内容の確認》

保存している回答集合の一覧および内容を表示します。一覧表示では、出力表示の様式が固定のため、個々の保存内容を全て表示できない場合があります。
トレーニングモードで使用できます。

[Web 指定] 特実モード、意匠モードでメニューフレームの「補助」「保存データ一覧・削除集合」を選択すると保存集合削除画面が表示されます。

保存集合削除 ヘルプ

保存集合を削除します

保存集合を最大10個まで選択し、「保存集合を削除」ボタンを押すと削除できます。
集合保存時のデータ種別別は表示されません。

集合名	ユーザーコード	保存日付	ファイル	件数	コメント
	機能				
<input type="checkbox"/> SSGOLF	DEMO	2006/10/25	【特許】	4,947	調査ゴルフ
	特実検索	CLM=ゴルフクラブ			

保存集合を削除 クリア

[コマンド指定] DISPLAY コマンドを使用します。DISPLAY は D に省略可能です。

```
DISPLAY △S          (保存された回答集合の一覧を表示)
```

```
DISPLAY △S=SSxxxxxx (指定した保存集合の詳細情報を表示)
```

① (「△」は半角の空白)

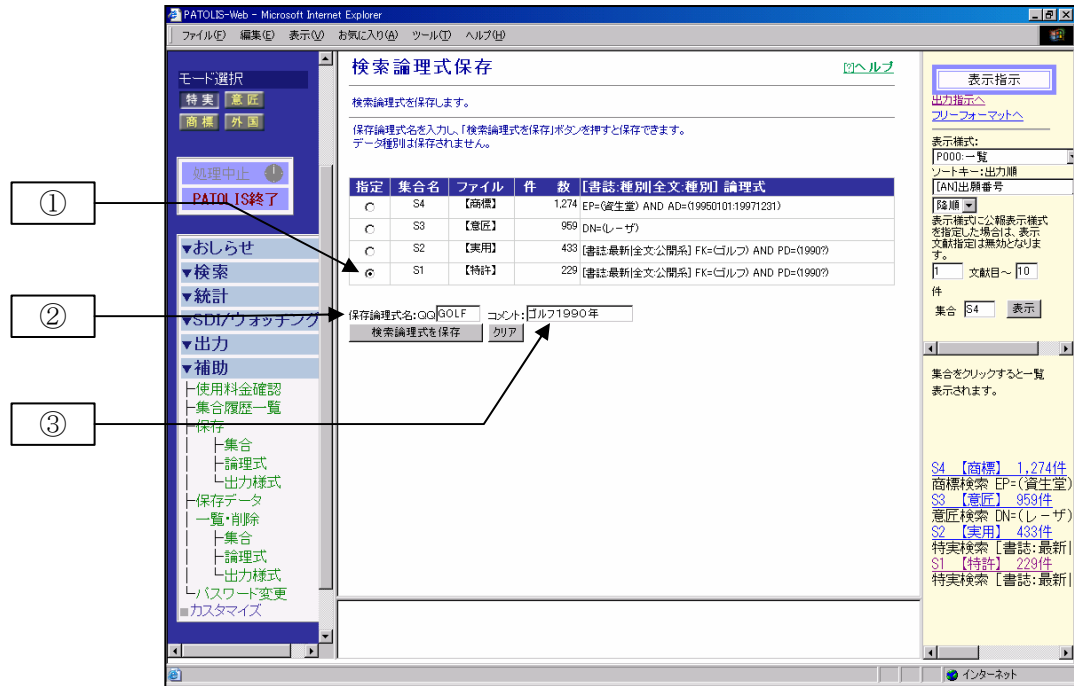
①集合の指定 内容を表示する保存集合名を指定します。

(2) 検索論理式の保存・削除 (コマンド : SAVE、DELETE、DISPLAY)

本機能は、PATOLIS-Web では特許・実用新案・意匠・商標で指定した検索論理式、PATOLIS-C/T、PATOLIS-C/W では特許・実用新案で指定した検索論理式が対象になります (データ種別の指定は保存されません)。外国モードの検索論理式の保存・削除はできません。トレーニングモードで使用できますが、実際には保存は行いません。

《保存》

[Web 指定] 特実モード、意匠モード、商標モードでメニューフレームの「補助」 「保存-論理式」を選択すると検索論理式保存画面が表示されます。



[コマンド指定] SAVE コマンドを使用します。

SAVE △ Q △ NAME=QQxxxxxx △ TITLE='コメント'

(「△」は半角の空白)

① 検索論理式の指定

検索論理式を保存します。
 指定できる論理式の長さは 1,000 バイトまで、1UIDにつき合計 4MBまで^(注)の論理式を保存できます。^(注)1UIDにつき保存集合・保存検索論理式・保存出力様式をあわせて 4MBまでとなります。
 論理式中に集合名または保存集合名が指定されているものは保存できません。
 Web の場合は、一覧から保存する検索論理式を選択します。
 コマンドの場合は、直前 (最新エリア) の検索論理式を保存します。

② 保存論理式名

保存論理式名は、先頭 2 文字を QQ としその直後に 6 桁以内の任意の英数字を付けて指定します。(QQxxxxxx の形式となります。)

③ コメント

保存論理式名に付与するコメントを全角 10 文字以内で指定できます (省略も可能です)。

《保存論理式の利用》

保存論理式は、その保存論理式名を指定することにより、その後の検索で、そのまま使用できます（検索ターム料金が課金されます）。
保存内容については、Web の場合「保存データ一覧・削除（論理式）」、コマンドの場合 DISPLAY で確認できます。

[Web 指定] 特実モード、意匠モード、商標モードの検索画面で検索項目「集合・保存集合・保存論理式」を選択し、検索論理式に保存論理式名を半角で指定します。

検索論理式 を指定してください。 >>>>>>> 論理式直接入力する場合はこちらへ					
	[?]検索項目	[?]ターム	[?]条件	[?]検索論理式	[?]演算子
1	集合・保存集合・保存論理式		=	QQGOLF	AND
2	<参照>		=		AND
3	<参照>		=		AND
4	<参照>		=		AND
5	<参照>		=		▼行追加

[コマンド指定]

```

FILE P
  特許ファイルに接続しました。 2004/12/29 14:35:42
?
F FK=ゴルフ*PD=1990?
FK=ゴルフ*PD=1990?

S1 P 229
?
SAVE Q NAME=QQGOLF TITLE='ゴルフ1990年'
(QQGOLF:ゴルフ1990年)で保存しました。 2004/12/29 14:36:18
?
F QQGOLF
(FK=ゴルフ*PD=1990?)

S2 P 229
?
LIMIT QQGOLF
(FK=ゴルフ?*PD=1990?)

P 254
?
F IC=A63B57/00
IC=A63B57/00

S3 P 10 L
?

```

《削除》

[Web 指定] 特実モード、意匠モード、商標モードのメニューフレームで「補助」「保存データ一覧・削除－論理式」を選択すると保存検索論理式削除画面が表示されます。

[ヘルプ](#)

保存検索論理式を **削除** します >>>>>> [登録済みの保存検索論理式を修正する場合はこちらへ](#)

保存検索論理式を最大10個まで選択し、「保存検索論理式を削除」ボタンを押すと削除できます。

論理式名	ユーザーコード	保存日付	更新日付	コメント	
論理式					
<input checked="" type="checkbox"/>	QQGOLF	DEMO	2007/02/06	2007/02/06	ゴルフ1990年 FK=(ゴルフ) AND PD=(1990?)

[コマンド指定] DELETE コマンドを使用します。

DELETE△Q=QQxxxxxx,QQxxxxxx,・・・ (「△」は半角の空白)

①

①集合の指定

削除する保存論理式名を指定します。最大10個まで指定できます。
Web の場合は、一覧から論理式名を選択し「保存検索論理式を削除」ボタンをクリックします。
 コマンドの場合は、一度に複数個指定する際は保存名をカンマ(,)でつないで指定します。
 トレーニングモードで使用できます。しかし、実際には、削除を行いません。

《保存内容の確認》

[Web 指定] 特実モード、意匠モード、商標モードのメニューフレームで「補助」「保存データ一覧・削除－論理式」を選択すると保存検索論理式削除画面が表示されます。

[ヘルプ](#)

保存検索論理式を **削除** します >>>>>> [登録済みの保存検索論理式を修正する場合はこちらへ](#)

保存検索論理式を最大10個まで選択し、「保存検索論理式を削除」ボタンを押すと削除できます。

論理式名	ユーザーコード	保存日付	更新日付	コメント	
論理式					
<input type="checkbox"/>	QQGOLF	DEMO	2007/02/06	2007/02/06	ゴルフ1990年 FK=(ゴルフ) AND PD=(1990?)

[コマンド指定] DISPLAY コマンドを使用します。DISPLAY は D に省略可能です。

DISPLAY△Q (保存検索論理式の一覧を表示)

DISPLAY△Q=QQxxxxxx (保存検索論理式の詳細を表示)

(「△」は半角の空白)

保存している検索論理式の一覧および内容を表示します。一覧表示では、出力表示の様式が固定のため、個々の保存内容を全て表示できない場合があります。
 トレーニングモードで使用できます。

《登録済みの保存論理式の修正》

[Web 指定] 特実モード、意匠モード、商標モードで「保存データ一覧・削除（論理式）」を選択すると保存検索論理式削除画面が表示されます。
本機能は PATOLIS-Web のみの機能です。

保存検索論理式
削除画面

「>>登録済みの保存検索論理式を修正する場合はこちらへ」をクリックします。

保存検索論理式削除

保存検索論理式を削除します >>>>>> [登録済みの保存検索論理式を修正する場合はこちらへ](#)

保存検索論理式を最大10個まで選択し、「保存検索論理式を削除」ボタンを押すと削除できます。

論理式名	ユーザーコード	保存日付	更新日付	コメント
<input type="checkbox"/> QQGOLF	DEMO	2007/02/06	2007/02/06	ゴルフ1990年
FK=(ゴルフ) AND PD=(1990?)				

保存検索論理式を削除 クリア

保存検索論理式
修正画面

修正する保存論理式を選択し、「保存検索論理式を修正」ボタンをクリックします。

保存検索論理式修正

保存検索論理式を修正します >>>>>> [登録済みの保存検索論理式を削除する場合はこちらへ](#)

修正する保存検索論理式を選択し、「保存検索論理式を修正」ボタンを押すと保存検索論理式の修正ができます。

論理式名	ユーザーコード	保存日付	更新日付	コメント
<input checked="" type="radio"/> QQGOLF	DEMO	2007/02/06	2007/02/06	ゴルフ1990年
FK=(ゴルフ) AND PD=(1990?)				

保存検索論理式を修正

コメントと論理式の修正が可能です。

修正後、「修正した検索論理式を保存する」ボタンをクリックします。

修正を中止する場合は「修正前に戻す」ボタンをクリックします。

保存検索論理式修正

検索論理式を修正し保存します。コメントと論理式の修正が可能です。

論理式名	QQGOLF
ユーザーコード	DEMO
保存日付	2007/02/06
更新日付	2007/02/06
コメント	ゴルフ1990-99
論理式	FK=(ゴルフ) AND PD=(1990?+1991?+1992?+1993?)

対象ファイル 特許または実用新案 意匠 商標

修正した検索論理式を保存する 修正前に戻す 論理式一覧へ戻る

Microsoft Internet Explorer

更新してよろしいですか?

OK キャンセル

修正後の論理式を保存すると、「処理を完了しました」のメッセージがメッセージフレームに表示されます。

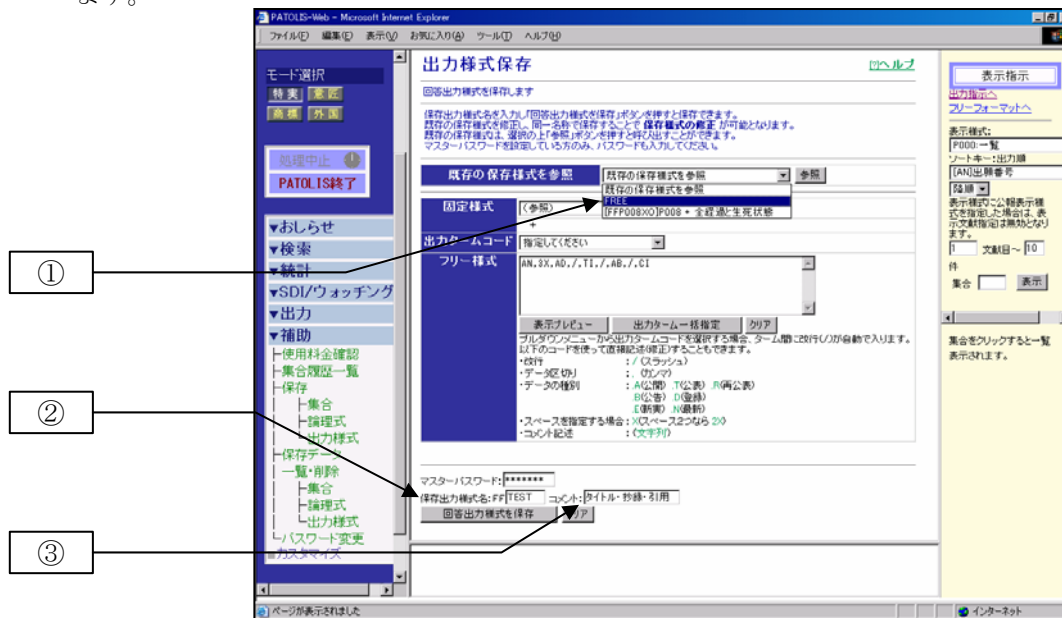
処理中です。
処理を完了しました。

(3) 回答出力様式の保存・削除（コマンド：SAVE、DELETE、DISPLAY）

本機能は、フリーフォーマット出力が可能である PATOLIS-Web、PATOLIS-C/T、PATOIS-C/W での特許・実用新案が対象になります。意匠・商標・外国モードでは利用できません。フリーフォーマット出力したい項目を予め登録しておくことで、操作を簡略化することが可能です。トレーニングモードで使用できますが、実際には保存は行いません。

《保存》

[Web 指定] 特実モードで「補助」 「保存-出力様式」 を選択すると出力様式保存画面が表示されます。



[コマンド指定] SAVE コマンドを使用します。

```
SAVE△F△NAME=FFxxxxxx△TITLE='コメント'
```

① ② ③ (「△」は半角の空白)

- ①回答出力様式の指定
直前の（最新エリア）の回答出力様式を保存します。
1UIDにつき合計 4MBまで^(注)の回答出力様式を保存できます。（^(注)1UIDにつき保存集合・保存検索論理式・保存出力様式をあわせて 4MBまでとなります。）
Web の場合は、「既存の保存様式を参照」のプルダウンメニューから FREE を選択し「参照」ボタンをクリックすると、直前に指定した出力様式（固定様式、フリー様式）が表示されます。
コマンドの場合は、直前（最新エリア）の回答出力様式を保存します。
Web では、固定様式とフリーフォーマットの項目、又はフリーフォーマットの項目のみで出力様式を作成し保存することができます。「既存の保存様式を参照」のプルダウンメニューから既に登録している保存様式を参照して出力様式を作成することも可能です。
コマンドの場合は、フリーフォーマットの項目のみで出力様式を作成し保存することができます。
- ②保存出力様式名
保存出力様式名は、先頭 2 文字を FF としその直後に 6 桁以内の任意の英数字を付けて指定します。（FFxxxxxx の形式となります。）
- ③コメント
保存出力様式名に付与するコメントを全角 10 文字以内で指定できます（省略も可能です）。

回答出力様式の保存時にマスターパスワードの確認を行う必要があると設定している場合は、出力様式の保存を行う際にマスターパスワードの確認が行われます。一回で正しいマスターパスワードが答えられないと、「0S197E マスターパスワードが不一致です」のメッセージが表示され、この指示は受け付けられません。マスターパスワードの確認の設定は C-8-4. (2) マスターパスワード管理項目の変更 をご参照ください。

《保存出力様式の利用》

保存出力様式は固定様式扱いとなるため、その保存出力様式名を指定することで、その後の出力で使用できます。

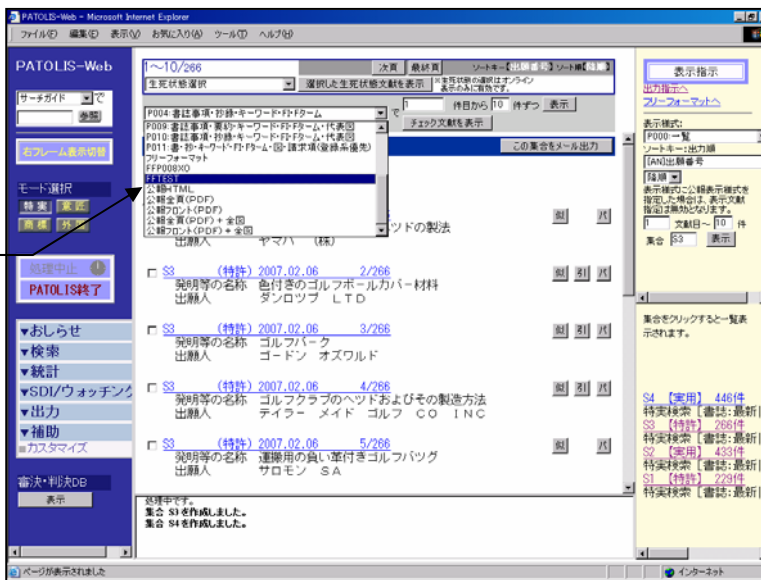
保存内容については、Web の場合「補助」 「保存データ一覧・削除」出力様式」、コマンドの場合 DISPLAY で確認できます。

[Web 指定] 特実モードの詳細表示のプルダウンメニューから保存出力様式名を選択します。

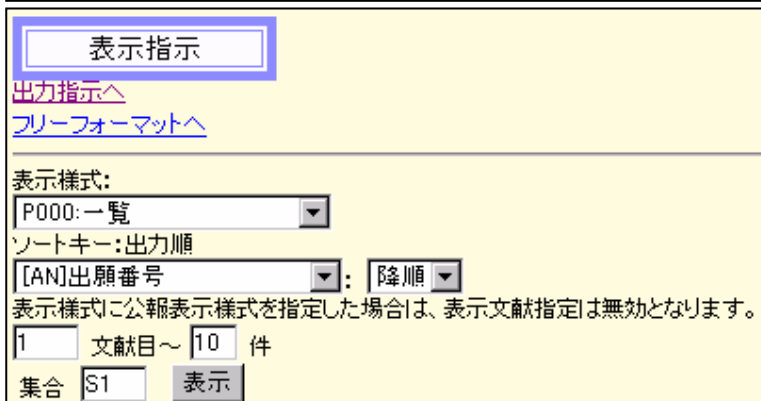
一覧表示画面

保存した出力様式名は詳細表示のプルダウンメニューに反映されます。

保存出力様式を選択し、詳細表示を行います。



表示指示画面



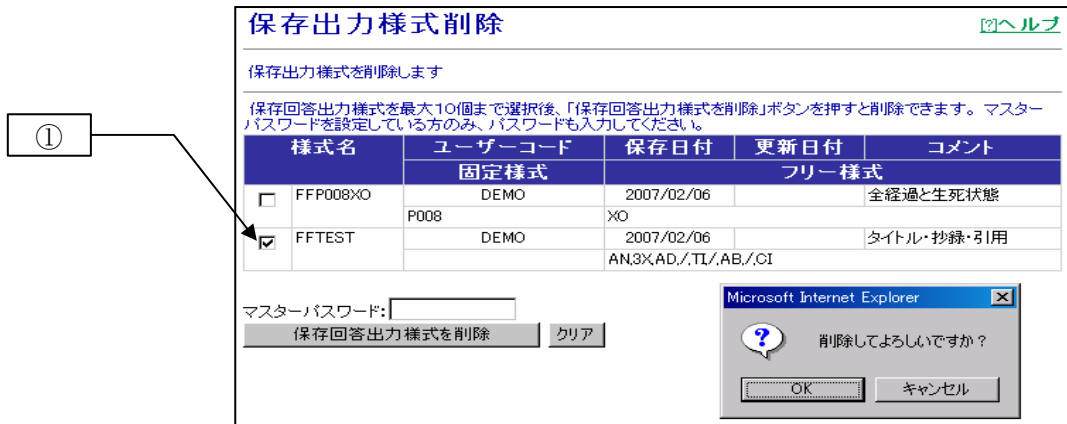
[コマンド指定] FORMAT=保存出力様式名 の形式で指定する必要があります。

```

FILE P
  特許ファイルに接続しました。 2004/12/29 18:40:21
  ?
  L SSGOLF F=FFTEST R=15
  SSGOLF (P ) 2004.12.29 15/ 229
  出願番号 平 01-310506 出願日 平 1.11.29
  発明等の名称 ゴルフボール
  抄録 【目的】第1の基本面の対角円弧として、球の中心点を中心とし、球状の正多角形の2つの対抗頂点を結合する円弧が構成されるとき、幾つかの窪を対角円弧上に配置することにより、打球の再現性の確保を図る。【構成】区画を、四辺23~26を持つ球状の正多角形状の6つの第1の基本面22と、球状の正三角形形状の8つの第2の基本面29とを構成するような形で立方体4の2つの正反対の対抗頂角5~12を通る軸14~17を各々中心にした4つの赤道円18~21に沿って区切り、窪44, 49, 54, 59, 63を基本面22, 29内に分布する。更に、基本面22の対角円弧として、球1の中心点13を中心とし、正多角形の2つの対抗頂角30~33を結ぶ円弧35, 36が構成されている場合、窪44, 49, 54, 59, 63の幾つかの窪44, 49, 54を対角円弧35, 36上に配置する。この結果、球面の窪領域の間に均質性を存在させ、打球の再現性を確保させる。
  引用文献 [19, 平 9. 8. 29, 11 ] (11, JP, 特許公開, 1989221182)
  
```

《削除》

[Web 指定] 特実モードで「補助」「保存データ一覧・削除－出力様式」を選択すると保存出力様式削除画面が表示されます。



[コマンド指定] DELETE コマンドを使用します。

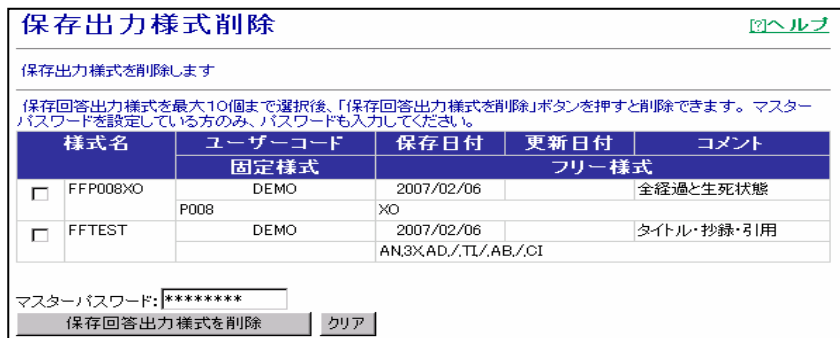
```
DELETE Δ F=FFxxxxxx,FFxxxxxx,・・・ (「Δ」は半角の空白)
```

①保存出力様式の指定

削除する保存出力様式名を指定します。最大10個まで指定できます。
 Web の場合は、一覧から様式名を選択し「保存回答出力様式を削除」ボタンをクリックします。
 コマンドの場合は、一度に複数個指定する際は保存名をカンマ(,)でつないで指定します。
 保存出力様式の削除時にマスターパスワードの確認を行う必要があると設定している場合は、
 出力様式の削除を行う際にマスターパスワードの入力が必要になります。一回で正しいマ
 スターパスワードが答えられないと、「0S197E マスターパスワードが不一致です」のメッセ
 ージが表示され、この指示は受けられません。
 トレーニングモードで使用できます。しかし、実際には、削除を行いません。

《保存内容の確認》

[Web 指定] 特実モードで「補助」「保存データ一覧・削除－出力様式」を選択すると保存出力様式削除画面が表示されます。



[コマンド指定] DISPLAY コマンドを使用します。DISPLAY は D に省略可能です。

```
DISPLAY Δ F          保存回答出力様式の一覧を表示します。
DISPLAY Δ F=FFxxxxxx 保存回答出力様式の詳細を表示します。
                        (「Δ」は半角の空白)
```

保存している出力様式の一覧および内容を表示します。
 トレーニングモードで使用できます。

《回答集合の保存・削除》

[コマンド指定]

回答集合S1を
保存集合名「SSGOLF」
コメント「FKゴルフ」
で保存します。

DISPLAYコマンドで保存され
た回答集合の一覧を表示
します。
DISPLAYはDに省略可能で
す。

保存集合を利用して検索
します。

DELETEコマンドで保存集
合を削除します。

```

?
F FK=ゴルフ
FK=ゴルフ

S1 P      12,391
?
SAVE S=S1 NAME=SSGOLF TITLE='FKゴルフ'
(SSGOLF:FKゴルフ)で保存しました。 2003/10/15 17:07:34
?
DISPLAY S
集合名 ユーザコード 保存日付 ファイル      件数 コメント
SSGOLF DEMO      2003/10/15 P      12,391 FKゴルフ
FK=ゴルフ
?
F SSGOLF*PD=1990?

S2 P      229
?
DELETE S=SSGOLF
削除対象はSSGOLFです。
削除を行いますか。(YES/NO または Y/N)
YES
保存集合名(SSGOLF)を削除しました。 2003/10/15 17:08:20 (0円)
?

```

《検索論理式の保存・削除》

[コマンド指定]

直前に作成された検索論
理式を保存論理式名
(QQGOLF)で保存します。

DISPLAYコマンドで保存
された検索論理式の一覧
を表示します。

保存した検索論理式で検
索します。

DELETEコマンドで保存論
理式を削除します。

```

?
F FK=ゴルフ*PD=1990?
FK=ゴルフ*PD=1990?

S3 P      229
?
SAVE Q NAME=QQGOLF
(QQGOLF)で保存しました。 2003/10/15 17:33:03
?
D Q
論理式名 ユーザコード 保存日付 コメント      論理式
QQGOLF DEMO      2003/10/15      FK=ゴルフ*PD=1990?
?
F QQGOLF
(FK=ゴルフ*PD=1990?)

S4 P      229
?
DELETE Q=QQGOLF
削除対象はQQGOLFです。
削除を行いますか。(YES/NO または Y/N)
YES
保存論理式名(QQGOLF)を削除しました。 2003/10/15 17:40:04 (0円)
?

```

《回答出力様式の保存・削除》

[コマンド指定]

直前に作成された回答出力様式を保存様式名 (FFGOLF) で保存します。

DISPLAY コマンドで保存された回答出力様式の一覧を表示します。

保存様式を利用して出力します。

DELETE コマンドで保存様式を削除します。

```
?
F FK=ゴルフ
FK=ゴルフ

S1 P 13,531
?
L FREE=AN,3X,AD,/,PN,3X,PD,/,TI R=1
S001 (P ) 2004.12.29 1/ 13531
出願番号 2004-171156 出願日 平 16. 6. 9
公開番号 2004-290687 公開日 平 16.10.21
発明等の名称 グラヴィテイルールを実感するゴルフクラブ
?
SAVE F NAME=FFGOLF TITLE='番号日付とタイトル'
マスターパスワードを入力して下さい。
*****
(FFGOLF:番号日付とタイトル)で保存しました。 2004/12/29 19:30:44
?
D F
様式名 ユーザコード 保存日付 コメント 様式
FFP008 A 2004/11/05 全経過と生死出訴 /,XO,/,SCD,/,ACZ,/,ACK,/,AC
FFTEST Y 2004/12/29 名称抄録引用 AN,3X,AD,/,TI,/,AB,/,CI
FFGOLF Z 2004/12/29 番号日付とタイトル AN,3X,AD,/,PN,3X,PD,/,TI
?
L F=FFGOLF R=100
S001 (P ) 2004.12.29 100/ 13531
出願番号 2003-146271 出願日 平 15. 5.23
公開番号 2004- 626 公開日 平 16. 1. 8
発明等の名称 ポリマーネットワーク中にグラフアイトナノシートを含むゴ
ルフボール。
?
DELETE F=FFGOLF
マスターパスワードを入力して下さい。
*****
削除対象は FFGOLF です。
削除を行いますか。(YES/NO または Y/N)
Y
保存様式名 (FFGOLF )を削除しました。 2004/12/29 19:31:40 (0 円)
?
```

C-8-2. 履歴表示 (コマンド: HISTORY)

(1) 回答集合の一覧の履歴を表示 (コマンド: HISTORY)

当該セッションで作成された回答集合の一覧の履歴を表示します。

検索条件が設定 (コマンド: LIMIT) されている状態で履歴を表示させた場合は、先頭部分に、ファイルごとに設定されている検索条件およびその件数を表示します。また、検索条件設定 (LIMIT) 下で作成された回答集合の場合、回答集合名の前に”L” マークを表示します。

トレーニングモードで使用できます。

トレーニングモードで作成された回答集合の場合、回答集合名の前にシャープマーク (#) が表示されます。トレーニングモードで LIMIT コマンドにより検索条件を設定して作成された回答集合の場合は、”L” マーク、シャープマーク (#)、回答集合名、件数、使用コマンド、検索論理式の順で表示します。

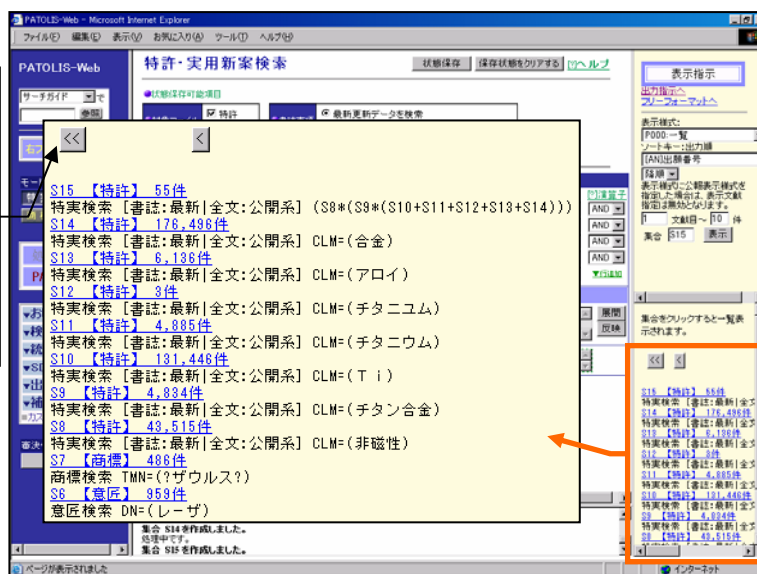
※2006年10月30日より、履歴にデータ種別が表示されるようになりました。データ種別の詳細についてはD-2-1. ファイルと検索データ種別 をご参照ください。

[Web 指定] 特実・意匠・商標モードで作成された回答集合の履歴を表示します。

サブフレームの履歴表示

画面の右側 (サブフレーム) に集合履歴が表示されます。直前の回答集合からさかのぼって10個の回答集合を作成順に表示します。

さらにさかのぼって履歴を確認するには
 《 < > 》を利用します。

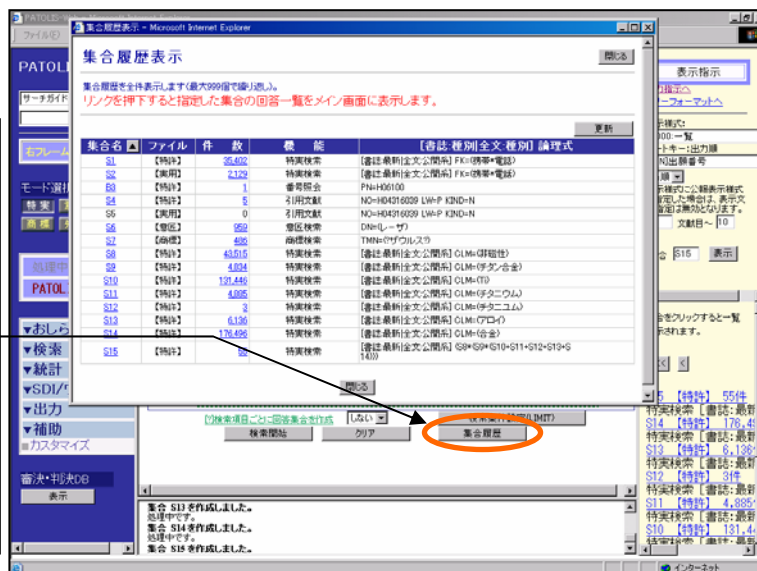


検索画面の集合履歴ボタン

検索画面の【集合履歴】ボタンをクリックすると、別ウィンドウに集合履歴が全件表示されます。

集合名の見出しの【▲】ボタンをクリックして、回答集合を降順・昇順に並び替えることが可能です。

集合名または件数をクリックすると、一覧 (P000, D000, M000) をメインフレームに表示します。



※ 【集合履歴】 ボタンは平成 18 (2006) 年 10 月 30 日から機能追加

集合履歴表示画面

メニューフレームの「補助」「集合履歴一覧」を選択すると、集合履歴が全件表示されます。

集合名の見出しの【▲】ボタンをクリックして、回答集合を降順・昇順に並べ替えることが可能です。

集合名または件数をクリックすると、一覧(P000, D000, M000)を表示します。

集合名	ファイル	件数	機能	【検索・特別全文種別 論理式】
S1	【特許】	38,802	特許検索	(書誌:最新全文公開系) Fk=(特許+電話)
S2	【実用】	2,129	特許検索	(書誌:最新全文公開系) Fk=(特許+電話)
S3	【特許】	1	番号検索	PN=H00100
S4	【特許】	5	引用文献	NO=H04316039 LW=P KIND=N
S5	【実用】	0	引用文献	NO=H04316039 LW=P KIND=N
S6	【特許】	952	集約検索	DH=(L-V)
S7	【特許】	496	特許検索	TM=(T)O(0)C(0)
S8	【特許】	43,515	特許検索	(書誌:最新全文公開系) OLM=(特許性)
S9	【特許】	4,994	特許検索	(書誌:最新全文公開系) OLM=(特許+合金)
S10	【特許】	121,446	特許検索	(書誌:最新全文公開系) OLM=(TD)
S11	【特許】	4,888	特許検索	(書誌:最新全文公開系) OLM=(特許+O(0))
S12	【特許】	2	特許検索	(書誌:最新全文公開系) OLM=(特許+O(0))
S13	【特許】	6,132	特許検索	(書誌:最新全文公開系) OLM=(TD)
S14	【特許】	126,496	特許検索	(書誌:最新全文公開系) OLM=(合金)
S15	【特許】	56	特許検索	(書誌:最新全文公開系) GSP=(S)S(10+S11+S12+S13+S14)

[コマンド指定] HISTORY コマンドを使用します。H に省略可能です。

HISTORY△S

直前の回答集合からさかのぼって 10 個の回答集合を作成順に表示します。

HISTORY△S△LATE=nnn

直前の回答集合からさかのぼって nnn 個の回答集合を作成順に表示します。回答集合は最大 999 個まで存在します。

HISTORY△S△ALL

全ての回答集合を表示します。

(「△」は半角の空白)

(2) 直前の検索論理式の内容を表示 (コマンド : HISTORY)

直前の検索論理式 (最新の検索論理式のエリア) の内容を表示します。
本機能では、検索時に指定した検索データ種別 (書誌事項データ種別、全文事項データ種別) は表示されません。

[Web 指定] 特実・意匠・商標モードでは画面の右側 (サブフレーム) に直前の回答集合 10 個の検索履歴が表示されます。「集合履歴一覧」画面では全件の集合履歴が表示されます。
「保存データ一覧・削除 (論理式)」の保存検索論理式削除画面で確認することも可能です。C-8-1. (2) 検索論理式の保存・削除をご参照ください。

[コマンド指定] HISTORY コマンドを使用します。H に省略可能です。

<p>HISTORY△Q 直前の検索論理式 (最新の検索論理式のエリア) の内容を表示します。 (「△」は半角の空白)</p>
--

(3) 直前の回答出力様式の内容を表示 (コマンド : HISTORY)

直前のフリーフォーマット (最新のフリーフォーマットのエリア) の内容を表示します。

[Web 指定] 特実モードのフリーフォーマット画面で「登録プレビュー」をクリックすると、直前の回答出力様式が表示されます。C-6-1. オンライン出力 をご参照下さい。
「保存 (出力様式)」の出力様式保存画面で、「既存の保存様式を参照」のプルダウンメニューから FREE を選択すると、フリー様式欄に直前の回答出力様式が表示されます。
C-8-1. (3) 回答出力様式の保存・削除 をご参照ください。

[コマンド指定] HISTORY コマンドを使用します。H に省略可能です。

<p>HISTORY△F 直前のフリーフォーマット (最新のフリーフォーマットのエリア) の内容 を表示します。 (「△」は半角の空白)</p>

(4) 実行したコマンドの履歴を表示 (コマンド : HISTORY)

当該セッションで実行したコマンドの履歴 (内容) を表示します。
コマンドのみで実行できます。

[コマンド指定] HISTORY コマンドを使用します。H に省略可能です。

<p>HISTORY△C 直前に実行したコマンドからさかのぼって 10 個のコマンドの実行内容 を表示します。</p> <p>HISTORY△C△LATE=nnn 直前に実行したコマンドからさかのぼって nnn 個のコマンドの実行内容 を表示します。</p> <p>HISTORY△C△ALL 全ての実行コマンドを表示します。 (「△」は半角の空白)</p>
--

《履歴・内容の表示》

[コマンド指定]

検索条件(LIMIT)下で履歴を表示させると、先頭に検索条件の内容が表示されます。検索条件下で作成された集合名S4の前にはLが表示されます。

直前の検索論理式の内容が表示されます。

直前のフリーフォーマットの内容が表示されます。

検索条件(LIMIT)を解除後に履歴を表示させると、先頭に検索条件の内容は表示されません。

直前に実行した10個のコマンド実行内容が表示されます。

```

?
F FK=(デジタル*カメラ)
FK=(デジタル*カメラ)

S1 P 24,060
?
F DATA=X WD=デジタル W3 カメラ
WD=デジタル W3 カメラ

S2 P 63,820
?
F PD=1995?*S1
PD=1995?*S1

S3 P 499
?
LIMIT AP=産業技術総合研究所
AP=産業技術総合研究所

P 31,100
?
F AD=2000?
AD=2000?

S4 P 899 L
?
H S
集合名 ファイル 件数 コメント [書誌:種別] 全文:種別] 論理式
S1 P 31,100 LIMIT [書誌:最新 全文:公関係] AP=産業技術総合研究所
S2 P 63,820 FIND [書誌:最新 全文:公関係] FK=(デジタル*カメラ)
S3 P 499 FIND [書誌:最新 全文:公関係] WD=デジタル W3 カメラ
L S4 P 899 FIND [書誌:最新 全文:公関係] PD=1995?*S1
? [書誌:最新 全文:公関係] AD=2000?
LIMIT OFF
ファイル名(P)のリミット条件を解除しました。
?
F FK=(金属*疲労)
FK=(金属*疲労)

S5 P 2,319
?
H Q
FK=(金属*疲労)
?
L FREE=AN, 3X, AD, /, APN R=100
S005 (P ) 2006.10.25 100/ 2319
出願番号 2004-181898 出願日 平16. 5.24
出願人 石川 樹, 増田 健
?
H F
AN, 3X, AD, /, APN
?
H S ALL
集合名 ファイル 件数 コメント [書誌:種別] 全文:種別] 論理式
S1 P 24,060 FIND [書誌:最新 全文:公関係] FK=(デジタル*カメラ)
S2 P 63,820 FIND [書誌:最新 全文:公関係] WD=デジタル W3 カメラ
S3 P 499 FIND [書誌:最新 全文:公関係] PD=1995?*S1
L S4 P 899 FIND [書誌:最新 全文:公関係] AD=2000?
S5 P 2,319 FIND [書誌:最新 全文:公関係] FK=(金属*疲労)
?
H C
実行時刻 コメント名 内容表示
4 19:10:19 FIND PD=1995?*S1
5 19:10:30 LIMIT AP=産業技術総合研究所
6 19:10:41 FIND AD=2000?
7 19:10:48 HISTORY S
8 19:11:08 LIMIT OFF
9 19:11:18 FIND FK=(金属*疲労)
10 19:11:28 HISTORY Q
11 19:11:39 LIST FREE=AN, 3X, AD, /, APN R=100
12 19:11:49 HISTORY F
13 19:12:02 HISTORY S ALL
?

```

C-8-3. トレーニング機能 (コマンド : TRAINING)

PATOLIS-C/W/C/T のみで利用できる機能です。

操作練習用状態 (トレーニングモード) への移行またはトレーニングモードから通常操作状態 (通常モード) への移行を指示します。

トレーニングモードでは、平成 13 (2001) 年 1 月の出願データ (1 ヶ月分) のみが対象となります。

[コマンド指定] TRAINING コマンドを使用します。TR に省略可能です。

TRAINING△ON トレーニングモードを開始します。
 TRAINING△OFF トレーニングモードを終了します。 (「△」は半角の空白)

TRAINING の後に何も指定しないと ON を自動設定します。

TRAINING OFF の指示を行うと、トレーニングモードで最後に使用していたファイルの通常モードに移行します。

FILE コマンドでファイルを選択する前にトレーニングモードに入ることはできますが、その後ファイルを選択しないと CHARGE、INFORMATION といった例外を除いて、コマンドは受付られません。トレーニングモードでは、コマンドを受け付ける状態を示すプロンプトマークが、クエスチョンマーク (?) からシャープマーク (#) に変わります。通常モードで作成した回答集合をトレーニングモードで利用して検索を行っても正しい検索は行いません。

[コマンド指定]

```

?
F FK=自動
FK=自動

S1 P      347,429
?
F IC=G06N1/00
IC=G06N1/00

S2 P      38
?
TRAINING ON
特許ファイルの接続を終了しました。
トレーニングを開始しました。 2004/12/30 11:04:20
#
F FK=自動
TRAINING
FK=自動

S3 P      868
#
F IC=G06N1/00
TRAINING
IC=G06N1/00

S4 P      0
#
CHARGE SESSION
*** 当該セッション料金問合せ *** ユーザーID : ABC1234 2004/12/30 11:05:06
(注) 価格は、税抜きです。
ユーザーコード ABC      開始日時2004/12/30 11:03:11      概算料金      180円
<<合計>>
検索料金                  180円 オンライン出力料金          0円
オフライン出力料金        0円 オフライン発送手数料          0円
... (以下、略) ...

#
TRAINING OFF
トレーニングを終了しました。 2004/12/30 11:05:16
?
    
```

トレーニングモードで CHARGE コマンドを実行した場合、トレーニングで使用した検索・出力を含む料金が表示されますが、実際には課金されません。

トレーニングモードにおける各コマンドの使用

※ 以下の表の「○」は使用可能、「△」は使用可能だが実動作を伴わない、「×」は使用不可を表しています。

コマンド	使用	備 考
ADDRESS	△	実動作を伴わない。注 1
CANCEL	△	実動作を伴わない。注 1
CHARGE	○	
COPY	△	管理通番は発行されるが、実動作を伴わない。注 1
COR	○	
DELETE	△	実動作を伴わない。注 1
DISPLAY	△	実動作を伴わない。注 1
DOWNLOAD	△	管理通番は発行されるが、実動作を伴わない。注 1
END	○	
FILE	○	
FIND	○	
HELP	○	
HISTORY	○	
INFORMATION	○	
LIMIT	○	
LIST	○	
LOGOFF	○	
MANAGER	×	注 3
OPTION	×	注 3
PASSWORD	×	注 3
PRINT	△	管理通番は発行されるが、実動作を伴わない。注 1
PFS	△	実際の検索を行わず、あらかじめ用意した回答を出力する。注 2
RANK	○	
REFERENCE	×	注 3
RELATION	△	実際の検索を行わず、あらかじめ用意した回答を出力する。注 2
RS	△	実際の検索を行わず、あらかじめ用意した回答を出力する。注 2
SAVE	△	実動作を伴わない。注 1
SORT	○	
STEP	○	
TRAINING	-	

注 1) コマンドの使用はできますが、実動作を伴いません。

注 2) コマンドの使用はできますが、「出力はシステムが生成したものです」のメッセージが表示され、あらかじめ用意した回答を出力します。

注 3) 「トレーニング中のため当コマンドは使用できません」のメッセージが表示され、コマンドは使用できません。

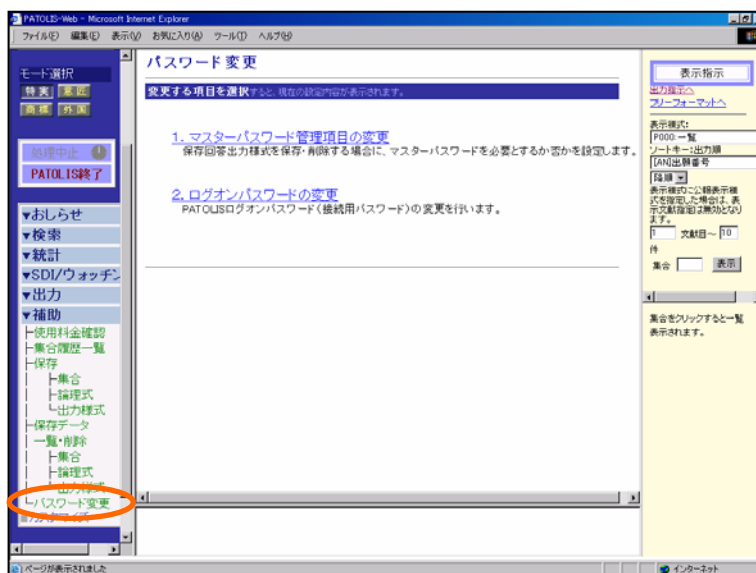
C-8-4. 接続環境設定

(1) ログオンパスワードの設定 (コマンド: PASSWORD)

PATOLIS ログオンパスワード (接続用パスワード) の変更を行います。
トレーニングモードでは使用できません。

[Web 指定] 特実・意匠・商標モードで「パスワード変更」を選択するとパスワード変更画面が表示されます。「2. ログオンパスワードの変更」を選択します。

パスワード変更画面



ログオンパスワード変更画面

[ヘルプ](#)

ログオンパスワードの変更

[\[マスターパスワード管理項目の変更\]](#)

PATOLISログオンパスワード (接続用パスワード) の変更を行います。

新しいログオンパスワードを入力してください。

確認のため新しいログオンパスワードをもう一度入力してください。

マスターパスワードを入力してください。

<注意> 半角大文字の英字と数字('A'~'Z','0'~'9')を使い、8桁以内で入力します。

[コマンド指定] **PASSWORD** コマンドを使用します。PW に省略可能です。
コマンド実行時は、特許または実用新案ファイルに接続する必要があります。

PASSWORD△NEW=新しいログオンパスワード
 ① (「△」は半角の空白)

①新しいログオンパスワード

新しいログオンパスワード (接続用パスワード) は8桁以内の半角英数字で指定します。英字を使用する場合は必ず大文字で指定します。

②マスターパスワード

ログオンパスワード変更の際にはマスターパスワード (管理用パスワード) の確認が行われます。一回で正しいマスターパスワードが答えられないと、「OS197E マスターパスワードが不一致です」のメッセージが表示され、このコマンドは受け付けられません。

C-8-19

(2007. 2)

《指定例》

[web 指定] 新しいログオンパスワード、マスターパスワードを入力します。「ログオンパスワードを変更しますか？」のメッセージが表示され、「OK」をクリックします。

変更完了後、画面下のメッセージフレームに「ログオンパスワードを変更しました。」のメッセージが表示されます。

ログオンパスワードを変更しました。2007/02/06 21:03:10

[コマンド指定]

```
ENTER USER-ID
ABC1234
ENTER PASSWORD
TOKKY050
ENTER USER-CODE
ABC

** PATOLIS オンライン サービス 開始 ** 2004/12/30 14:09:17
■ PATOLIS-4 オンラインサービス

PATOLIS をご利用くださいまして、まことにありがとうございます。
... (略) ...

?
FILE P
特許ファイルに接続しました。 2004/12/30 14:16:56
?
PASSWORD NEW=PATENT
マスターパスワードを入力して下さい。
*****
パスワードを変更しました。
?
LOGOFF
*** PATOLIS オンライン サービス 終了 *** 2004/12/30 14:18:03

(別セッションへ)

ENTER USER-ID
ABC1234
ENTER PASSWORD
PATENT
ENTER USER-CODE
ABC

** PATOLIS オンライン サービス 開始 ** 2004/12/30 14:18:25
■ PATOLIS-4 オンラインサービス
... (略) ...
```

(2) マスターパスワード管理項目の変更 (コマンド : MANAGER)

保存回答出力様式の保存・削除および OPTION コマンド実行時に、マスターパスワード (管理用パスワード) の確認を行うか否かの設定・設定解除を行います。
マスターパスワードを確認するか否かの設定・設定解除については、一度接続を終了 (コマンド : LOGOFF) し、再び接続してからでないと作用しません。

トレーニングモードでは使用できません。

[Web 指定] 特実・意匠・商標モードで「パスワード変更」を選択するとパスワード変更画面が表示されます。「1. マスターパスワード管理項目の変更」を選択します。

マスターパスワード管理
項目の変更画面

マスターパスワード管理項目の変更 ヘルプ

一度、PATOLIS終了ボタンで接続を終了し、再び接続してからでないと作用しません。
[ログインパスワードの変更](#)

保存回答出力様式を保存・削除する場合、マスターパスワードを必要とするか否かを設定します。

マスターパスワードを必要とする マスターパスワードを必要としない

マスターパスワードを入力してください。

マスターパスワード管理項目を変更する

[コマンド指定] **MANAGER** コマンドを使用します。
コマンド実行時は、特許または実用新案ファイルに接続する必要があります。

MANAGER△FORMAT=設定△OPTION=設定
① ②
マスターパスワードの確認を行うか否かの設定を行います。

MANAGER△DISPLAY
マスターパスワードで管理されている項目の状態を表示します。

(「△」は半角の空白)

①保存出力様式の保存・削除時にマスターパスワードの確認を行う必要がある場合は、Web の場合は、マスターパスワードを必要とする、マスターパスワードを必要としない のどちらかを選択します。
コマンドの場合は、FORMAT= の後に YES を、その必要がない場合は NO を指定します。FORMAT= か OPTION= のいずれか一方のみの指定も可能です。

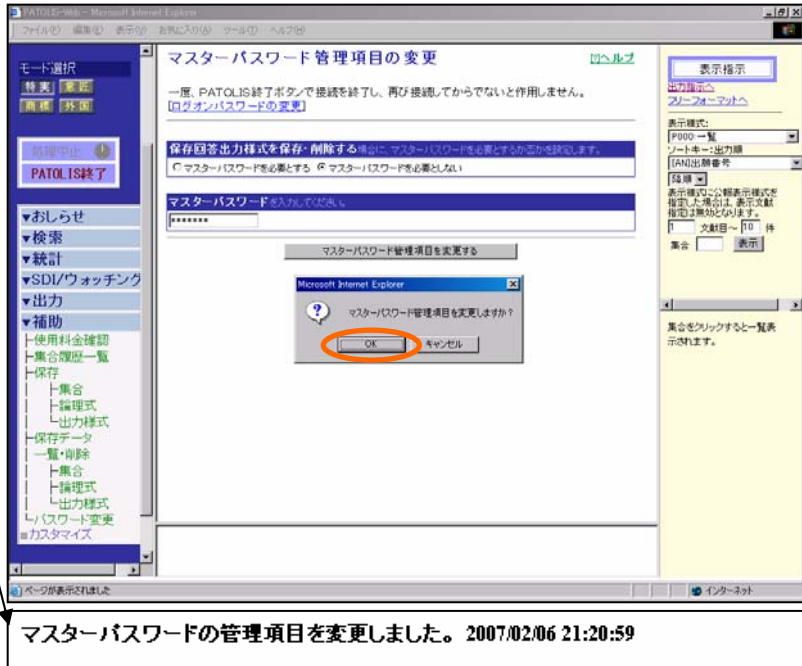
②コマンドのみの機能です。
OPTION コマンド実行時にマスターパスワードの確認を行う必要がある場合は、OPTION= の後に YES を、その必要がない場合は NO を指定します。FORMAT= か OPTION= のいずれか一方のみの指定も可能です。

マスターパスワード管理項目の変更の際してもマスターパスワードの確認が行われます。一回で正しいマスターパスワードが答えられないと、「0S197E マスターパスワードが不一致です」のメッセージが表示され、受け付けられません。

《指定例》

[web 指定] 保存回答出力様式を保存・削除する場合にマスターパスワードを「必要とする」、「必要としない」のいずれかを選択します。「マスターパスワード管理項目を変更しますか?」のメッセージが表示され、「OK」をクリックします。

変更完了後、画面下のメッセージフレームに「マスターパスワードの管理項目を変更しました」のメッセージが表示されます。



[コマンド指定]

```

?
FILE P
  特許ファイルに接続しました。 2004/12/30 14:33:50
?
MANAGER DISPLAY
  マスターパスワードを入力して下さい。
  *****
  マスターパスワード管理状態表示  設定状態  設定日付  設定時刻  ユーザーコード
  (1) 様式保存・削除                設定無し  2004/12/30  14:32:54  ABC
  (2) オプション管理                設定無し  2004/12/30  14:32:54  ABC
?
L SSGOLF FREE=AN, 3X, AD, /, TI R=100
SSGOLF (P ) 2004.12.30 100/ 229
出願番号 平 01- 26454 出願日 平 1. 2. 4
発明等の名称 低重心ゴルフアイアンクラブヘッド及びその製造法
?
SAVE F NAME=FFBANGOU TITLE='番号と日付'
(FFBANGOU:番号と日付)で保存しました。 2004/12/30 14:36:17
?
DELETE F=FFBANGOU
削除対象は FFBANGOU です。
削除を行いますか。(YES/NO または Y/N)
YES
保存様式名 (FFBANGOU) を削除しました。 2004/12/30 14:36:47 (0 円)
?
DISPLAY OPTION
1. オプション情報
  (1) 端末出力ライン数 (LINE)  設定状態  設定日付  設定時刻  ユーザーコード
  (2) 初期接続ファイル (FILE)  OFF        0000/00/00  00:00:00
  (3) ファイル切替時料金表示有無 (COST)  NO        2004/01/17  20:30:59  DEMO
2. マスターパスワード管理状態表示
  (1) 様式保存・削除 (SAVE/DELETE)  設定なし
  (2) オプション (OPTION)            設定なし
?
OPTION LINE=20
端末出力ライン数を 20 に設定しました。
?
... (次頁に続く) ...
  
```

・・・(前頁から続く)・・・

?

MANAGER FORMAT=YES OPTION=YES

マスターパスワードを入力して下さい。

様式保存・削除のマスターパスワード管理を設定しました。
オプションのマスターパスワード管理を設定しました。

?

LOGOFF

*** PATOLIS オンライン サービス 終了 *** 2004/12/30 14:39:19

?

(別セッションへ)

?

FILE P

特許ファイルに接続しました。 2004/12/30 14:45:28

?

DISPLAY OPTION

1. オプション情報	設定状態	設定日付	設定時刻	ユーザーコード
(1) 端末出力ライン数 (LINE)	20	2004/12/30	14:38:18	ABC
(2) 初期接続ファイル (FILE)	OFF	0000/00/00	00:00:00	
(3) ファイル切替時料金表示有無 (COST)	NO	2004/01/17	20:30:59	DEMO
2. マスターパスワード管理状態表示				
(1) 様式保存・削除 (SAVE/DELETE)	設定あり			
(2) オプション (OPTION)	設定あり			

?

MANAGER DISPLAY

マスターパスワードを入力して下さい。

マスターパスワード管理状態表示	設定状態	設定日付	設定時刻	ユーザーコード
(1) 様式保存・削除	設定有り	2004/12/30	14:39:16	ABC
(2) オプション管理	設定有り	2004/12/30	14:39:16	ABC

?

L SSGOLF FREE=AN, 3X, AD, /, TI R=50

SSGOLF (P) 2004.12.30 50/ 229
出願番号 平 01-109123 出願日 平 1. 5. 1
発明等の名称 改良されたゴルフクラブヘッド

?

SAVE F NAME=FFBANGOU TITLE='出願とタイトル'

マスターパスワードを入力して下さい。

(FFBANGOU:出願とタイトル)で保存しました。 2004/12/30 14:48:06

?

DELETE F=FFBANGOU

マスターパスワードを入力して下さい。

削除対象は FFBANGOU です。
削除を行いますか。(YES/NO または Y/N)

YES

保存様式名 (FFBANGOU) を削除しました。 2004/12/30 14:48:34 (0 円)

?

(3) 接続オプション情報の変更 (コマンド : OPTION)

端末行数の設定、PATOLIS 接続時のファイル設定、FILE または TRAINING コマンド使用時に料金表示を行うかの設定を行います。コマンド実行時は、特許または実用新案ファイルに接続する必要があります。

PATOLIS-C/T、PATOLIS-C/W の機能です。PATOLIS-Web での変更は、(4) カスタマイズをご参照下さい。トレーニングモードでは使用できません

[コマンド指定] OPTION コマンドを使用します。

OPTION△LINE=端末出力のライン数

①

OPTION△FILE=ファイル名

②

OPTION△COST=設定

③

(「△」は半角の空白)

① 端末行数の設定をします。

INFORMATION、REFERENCE といった多くの行にわたる情報を出力するコマンドを実行する場合の一回の出力行数の指定を行います。

LINE= の後に任意の数字 (0~99) を指定することにより、INFORMATION、REFERENCE コマンドを実行する場合、その数字の行数単位で出力を行うようになります。INFORMATION DATA、INFORMATION NEWS においては、指定した番号の情報を出力する場合は対象となります。

LINE=0 とすると、INFORMATION、REFERENCE、といったコマンドでは、全ての情報を一度に出力してしまうこととなります。

② PATOLIS 接続時に自動的に接続するファイルの設定・設定解除をおこないます。

PATOLIS 接続時に自動的に接続するファイルの指定を行います。ファイルは対応するコード (特許:P、実用新案:U) を使って指定します。両方のファイルに接続する場合は P,U とカンマ(,) でつないで指定します。FILE=OFF とすると PATOLIS 接続時に自動的にファイルに接続することはしなくなります。

③ FILE コマンド投入時および TRAINING コマンド投入時に料金表示を行うか否かの設定・設定解除を行います。

COST= で FILE コマンド投入時および TRAININ コマンド投入時に料金表示を行うか否かの設定・設定解除を行います。YES と指定すると料金表示を行い、NO と指定すると料金表示を行わなくなります。

FILE=、COST=、LINE=の3種類の内、一つ以上指定すれば当コマンドは実行できます。OPTION コマンドでの設定内容は、DISPLAY によって確認できます。(DISPLAY OPTION)

MANAGAER コマンドで OPTION コマンド実行時にマスターパスワードの確認を行う必要があると設定している場合は、このコマンド実行に際してはマスターパスワードの確認が行われます。一回で正しいマスターパスワードが答えられないと、このコマンドは受け付けられません。

```

FILE P
  特許ファイルに接続しました。 2004/12/30 15:58:12
?
OPTION FILE=P,U
  マスターパスワードを入力して下さい。
*****
  初期接続ファイルの特許、実用新案に設定しました。
?
LOGOFF
  *** PATOLIS オンライン サービス 終了 *** 2004/12/30 15:59:17

(別セッションへ)

  ENTER USER-ID
ABC1234
  ENTER PASSWORD
*****
  ENTER USER-CODE
ABC

  ** PATOLIS オンライン サービス 開始 ** 2004/12/30 16:00:08
  ■ PATOLIS-4 オンラインサービス
  ... (略) ...

  詳しくは IN NEWS または IN DATA: 『データ蓄積期間 ファイル選択メニュー』
  をご覧下さい。

  特許、実用新案ファイルに接続しました。 2004/12/30 16:00:08
?
DISPLAY OPTION
  1. オプション情報
  (1) 端末出力ライン数 (LINE)          設定状態 設定日付 設定時刻 ユーザーコード
      (2) 初期接続ファイル (FILE)        5         2004/12/30 14:55:25 ABC
      (3) ファイル切替時料金表示有無 (COST) P,U      2004/12/30 15:59:12 ABC
      (3) ファイル切替時料金表示有無 (COST) NO       2004/01/17 20:30:59 DEMO
  2. マスターパスワード管理状態表示
  (1) 様式保存・削除 (SAVE/DELETE)      設定あり
  (2) オプション (OPTION)                設定あり
?
F FK=液晶
  FK=液晶

  S1 P          146,917
  S2 U          11,599
?
FILE P
  特許、実用新案ファイルの接続を終了しました。
  特許ファイルに接続しました。 2004/12/30 16:01:31
?
OPTION COST=YES
  マスターパスワードを入力して下さい。
*****
  ファイル切替時料金表示を設定しました。
?
FILE U
  *** ファイル料金 (概算) *** ユーザー ID : ABC1234 2004/12/30 16:02:12
                                     (注) 価格は、税抜きです。
                                     概算料金          0円
  ユーザーコード ABC
  <<合計内訳>>
  ... (略) ...
  特許ファイルの接続を終了しました。
  実用新案ファイルに接続しました。 2004/12/30 16:02:12
?
DISPLAY OPTION
  1. オプション情報
  (1) 端末出力ライン数 (LINE)          設定状態 設定日付 設定時刻 ユーザーコード
      (2) 初期接続ファイル (FILE)        5         2004/12/30 14:55:25 ABC
      (3) ファイル切替時料金表示有無 (COST) YES      2004/12/30 16:02:03 ABC
  2. マスターパスワード管理状態表示
  (1) 様式保存・削除 (SAVE/DELETE)      設定あり
  (2) オプション (OPTION)                設定あり
?
  
```

変更完了後、PATOLIS を終了します。
PATOLIS 接続後、自動的に設定した特許・実用新案ファイルに接続されます。

ファイル切替時に料金は表示されません。

COST=YES
ファイル切替時の料金表示を設定しました。

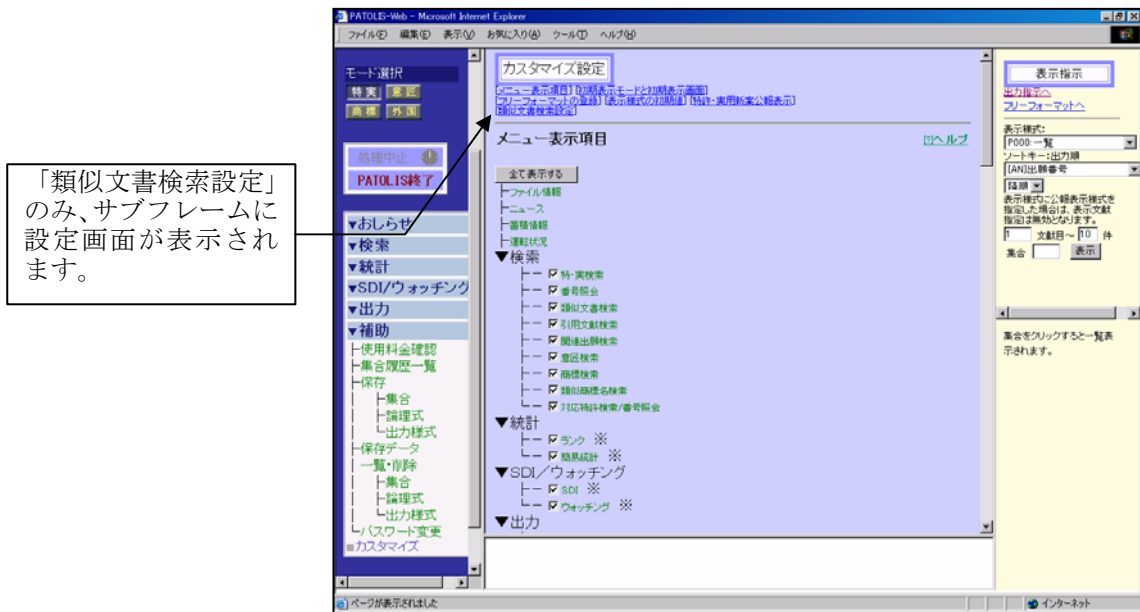
(4) カスタマイズ

PATOLIS-Web の機能です。

UID (ユーザーID) 毎に、普段利用する環境をあらかじめ設定することが可能です。設定した内容はセッションを変えても保持されます。

[Web 指定] 特実・意匠・商標・外国モードで「カスタマイズ」を選択するとカスタマイズ設定画面が表示されます。

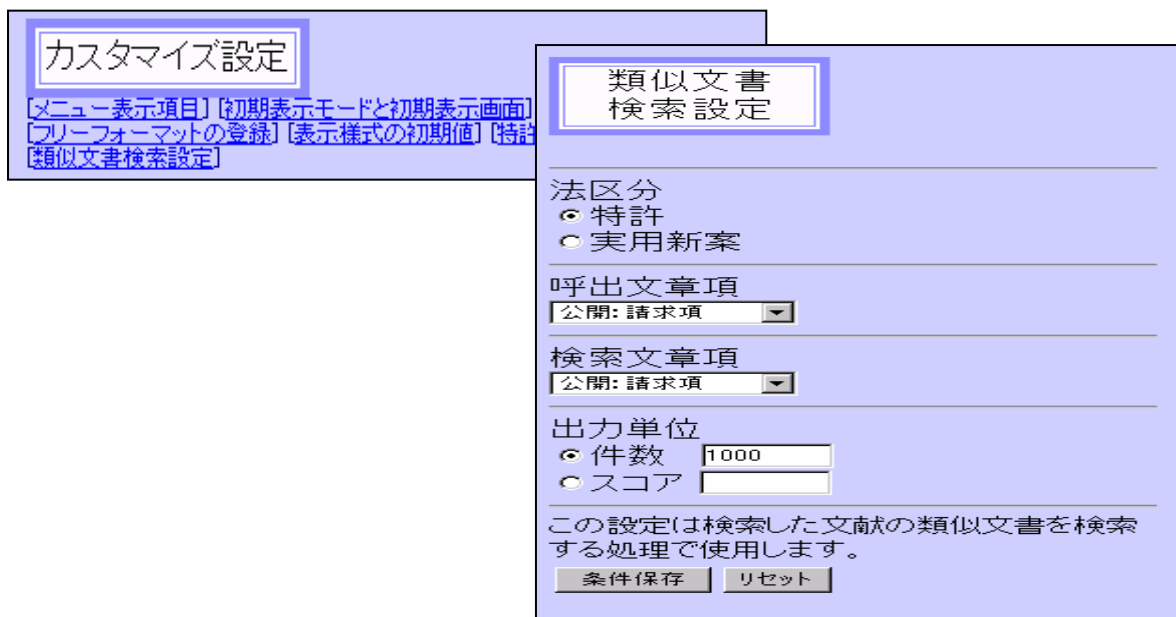
項目設定後、「決定」ボタンをクリックすると、「カスタマイズ設定を行いますか？」のメッセージが表示され、「OK」をクリックします。設定を行うと「設定しました」のメッセージがメッセージフレームに表示されます。



① 類似文書検索設定

カスタマイズ設定画面の「類似文書検索設定」をクリックすると、サブフレームに類似文書検索設定画面が表示されます。

特・実モードの類似文書検索画面の初期表示の設定、および特・実モードの検索結果に表示される【似】ボタンから類似文書検索を行う際の設定を行います。呼出文章項「公開：請求項」、検索文章項「公開請求項」、出力単位「1000 件」が初期値として設定されています。設定後、「条件保存」ボタンをクリックします。設定を行うと「状態を保存しました」のメッセージがメッセージフレームに表示されます。



C-8-26

(2007. 2)

②メニュー表示項目

各モード選択後にメインフレームに表示されるメニュー項目を設定します。

統計、SDI/ウォッチング、審決・判決 DB の項目を変更する場合にはマスターパスワードの入力が必要となります。

[ヘルプ](#)

メニュー表示項目

- ― ファイル情報
- ― ニュース
- ― 審積情報
- ― 運転状況
- ▼ 検索
 - ― 特・実検索
 - ― 番号照会
 - ― 類似文書検索
 - ― 引用文献検索
 - ― 関連出願検索
 - ― 意匠検索
 - ― 商標検索
 - ― 類似商標名検索
 - ― 対応特許検索/番号照会
- ▼ 統計
 - ― ランク ※
 - ― 簡易統計 ※
- ▼ SDI/ウォッチング
 - ― SDI ※
 - ― ウォッチング ※
- ▼ 出力
 - ― 集合指定出力
 - ― 番号指定出力
 - ― 予約出力
 - ― 出力取消
 - ― 出力先設定
 - ― 出力先確認
- ▼ 補助
 - ― 使用料金確認
 - ― 集合履歴一覧
 - ― 保存
 - ― 集合
 - ― 論理式
 - ― 出力様式
 - ― 保存データ
 - ― 一覧・削除
 - ― 集合
 - ― 論理式
 - ― 出力様式
 - ― パスワード変更
- 審決・判決DB ※

※の項目を変更する場合にはマスターパスワードの入力が必要です
 マスターパスワード:

③初期表示モードと初期表示画面

PATOLIS 接続時に表示されるモードと表示画面を設定します。

[ヘルプ](#)

初期表示モードと初期表示画面

モード選択	<input checked="" type="radio"/> 特許・実用新案	<input type="radio"/> 意匠	<input type="radio"/> 商標	<input type="radio"/> 外国
初期表示画面	<input checked="" type="radio"/> 検索 <input type="radio"/> 検索(直接入力) <input type="radio"/> 類似文書検索 <input type="radio"/> 引用文献検索 <input type="radio"/> 関連出願検索 <input type="radio"/> 番号照会	<input checked="" type="radio"/> 検索 <input type="radio"/> 検索(直接入力) <input type="radio"/> 関連出願検索 <input type="radio"/> 番号照会	<input checked="" type="radio"/> 検索 <input type="radio"/> 検索(直接入力) <input type="radio"/> 類似商標名検索 <input type="radio"/> 番号照会	<input checked="" type="radio"/> 対応特許検索/ 番号照会

C-8-27

(2006.5)

④フリーフォーマットの登録

固定様式と出力タームコードを組み合わせた出力回答様式を登録します。固定様式と出力タームコードのプルダウンメニューから項目を指定します。

フリーフォーマットの登録 [ヘルプ](#)

固定様式: P004:書誌事項・抄録・キーワード・FI・Fターム

出力タームコード: 生死状態

X0

表示プレビュー 出力ターム一括指定

決定 リセット

プルダウンメニューから出力タームコードを選択する場合、ターム間に改行(/)が自動で入ります。以下のコードを使って直接記述(修正)することもできます。

- ・改行 : / (スラッシュ)
- ・データ区切り : / (カンマ)
- ・データの種別 : A(公開) .T(公表) .R(再公表)
 .B(公告) .D(登録)
 .E(新実) .N(最新)
- ・スペースを指定する場合 : X(スペース2つなら 2X)
- ・コメント記述 : (文字列)

⑤表示様式の初期値

検索結果のオンライン表示をする際、詳細表示のプルダウンメニューの初期値を設定します。

表示様式の初期値 [ヘルプ](#)

特許・実用新案: P004]P004:書誌事項・抄録・キーワード・FI・Fターム 表示プレビュー

意匠: [D003]D003:書誌事項・審査経過 表示プレビュー

商標: [M002]M002:書誌事項・商標名・図形分類 表示プレビュー

決定 リセット

⑥特許・実用新案公報表示

特許・実用新案公報のオンライン表示をする際の初期値を設定します。公報種別の優先、公報出力表示形式、公報 HTML 全文表示状態 の設定が可能です。

特許・実用新案公報表示 [ヘルプ](#)

公報種別の優先の初期値

- 公開公報
- 登録公報

公報出力表示形式の初期値

- 公報フロント (PDF)
- 公報全頁 (PDF)
- 公報HTML
- 公報フロント (PDF) + 全図
- 公報全頁 (PDF) + 全図

公報HTML全文表示状態設定(全文中の指定部分を先頭に表示します。)

公報HTML表示ウインドウ

公報テキスト内リンク表示フレーム

公報全文テキスト表示フレーム

書誌的事項 を 図表示フレームの先頭に表示する。

決定 リセット